

2006年3月期

決算説明会



2006年 4月 28日 株式会社 CRCソリューションズ



1.2006年3月期 決算概要

2006年3月期決算の総括(連結)



- 6期連続の増収・増益 売上高、経常利益、当期純利益とも過去最高を更新
- データセンター事業が着実に成長を牽引
- ソフトウェア開発の利益率回復
- コンピニエンスストア「次世代店舗システム刷新プロジェクト」 スタート
- CRC版ERPコンポーネント「DREAMER」の展開開始

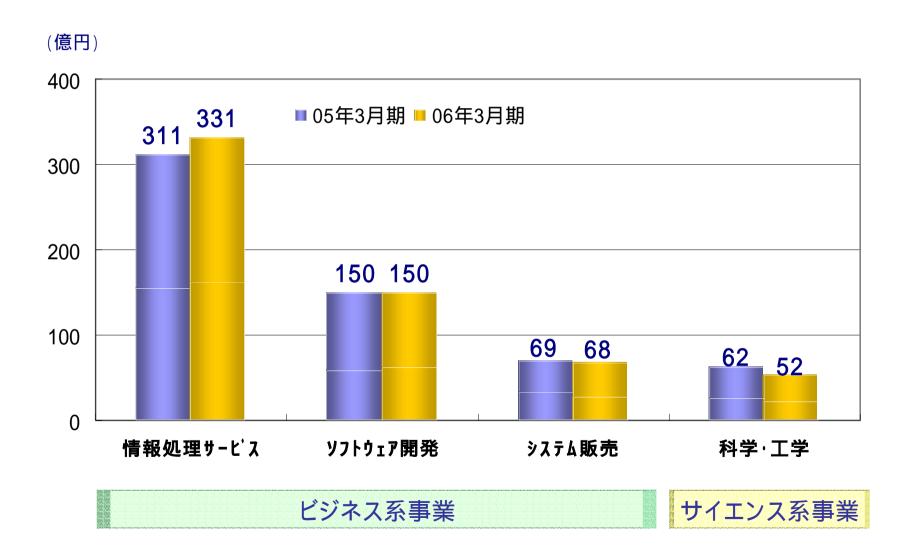
2006年3月期決算(連結)の概要



		. Marianarian di mariana manana m	単位:百万円、%			
〔連結〕	05/03	百分比	06/03	百分比	前期比	期初計画
売上高	59,459	100.0	60,587	100.0	1.9%	61,500
売上総利益	9,757	16.4	10,383	17.1	6.4%	11,100
営業利益	3,743	6.3	4,238	7.0	13.2%	4,100
経常利益	3,910	6.6	4,486	7.4	14.7%	4,300
当期純利益	2,278	3.8	2,609	4.3	14.5%	2,500
受注高	60,002		61,698		2.8%	
受注残	6,233		6,516		4.5%	

事業別売上高(連結)の前期比





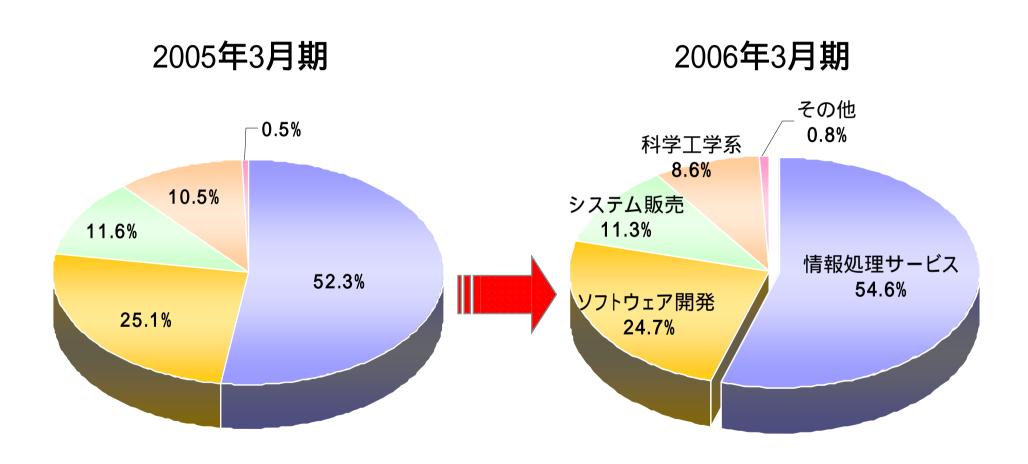
売上高(連結)増減要因



- ◆情報処理サービス 331億円 (前期比 +20億円)
- ・ データセンター事業の売上増加
- · 放送関連運用業務の増加(CRCシステムズ)
- ◆ソフトウェア開発 150億円 (前期比 -億円)
- ・ 売上、受注共堅調
- ・コンビニ向け「次世代店舗システム」の売上は翌年度
- ◆システム販売 68億円 (前期比 1億円)
- ・ システムインテグレータとしての機器販売前年並
- ◆科学·工学系 52億円 (前期比 10億円)
- · ACRONETの持分法適用会社化による減少
- ・ エネルギー関連システム構築、解析等の増加

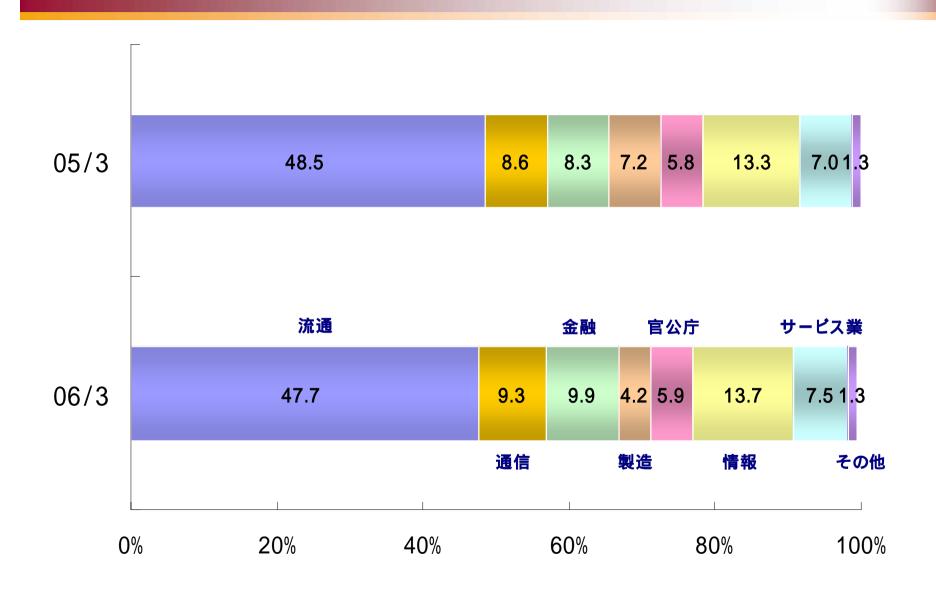
事業別売上高(連結)の構成比





業種別売上高(連結)の構成比





事業別売上総利益(連結)



対前期

売上総利益率 売上総利益額順位

ビジネス

情報処理サービス



ソフトウェア開発



システム販売



サイエンス

科学·工学系



売上総利益(平均)



17.1%

主な特別損益(連結)



投資有価証券売却益 280百万円

工事損失引当金戻し入れ益 102百万円

本社移転損失引当金繰入額 303百万円

その他 79百万円

37百万円



2.2007年3月期の見通し

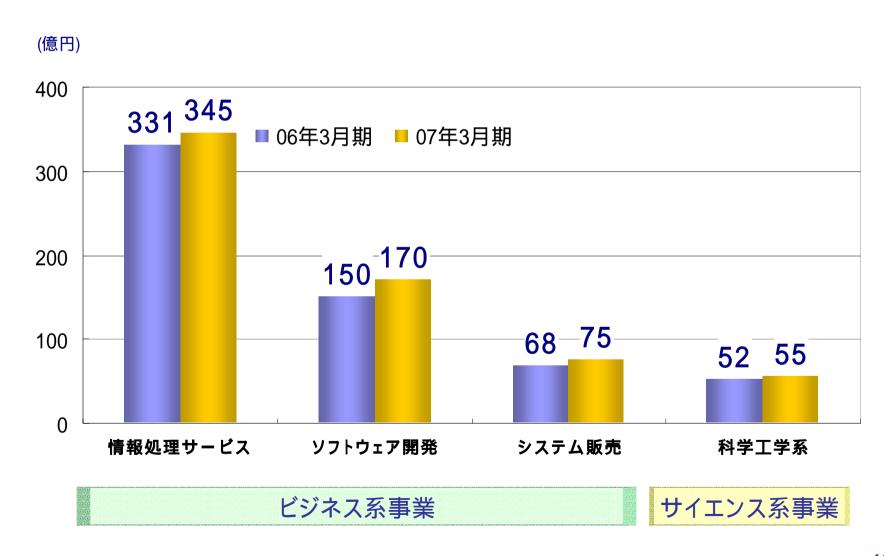
2007年3月期 経営計画(連結)



〔連結〕	06/03	百分比	07/03	百分比	前期比		
売上高	60,587	100.0	65,000	100.0	+7.3%		
売上総利益	10,383	17.1	11,600	17.9	+11.7%		
営業利益	4,238	7.0	4,800	7.4	+13.3%		
経常利益	4,486	7.4	5,000	7.7	+11.5%		
当期純利益	2,609	4.3	2,900	4.5	+11.2%		
設備投資総額	16億	၂	28億				

事業別売上高(連結)計画





経営環境



外部環境

- 日本経済は景気回復基調
- 企業のIT投資活発化
- バックアップセンターに対するニーズの高まり

競合環境

- 価格競争は依然続くが、やや緩和の兆し
- 案件増加に対応するための技術者確保競争

経営基本方針



◆強い分野をさらに強く = 「強い分野」に経営資源を集中

流通分野

アウトソーシングビジネス

一 売上拡大

◆ 品質・生産性向上、コスト競争力強化

利益率向上

♦ M&A



規模拡大

重点施策



1. データセンタービジネスの拡大

- ・ 都心型第3データセンター、郊外型データセンターの拡張 検討開始
- ・「運用サービス共通基盤」のレベルアップ 運用アウトソーシングサービスの高付加価値化

2. DREAMERシリーズの本格展開

- · DREAMERベースのSI案件受注促進
- · 関連リソースを集結し、「ERPシステム事業部」を新設

3. ブロードバンド時代の店舗システム

- ・コンビニエンスストア「次世代店舗システム」の着実な遂行
- ・ 他業種多店舗チェーンへの展開

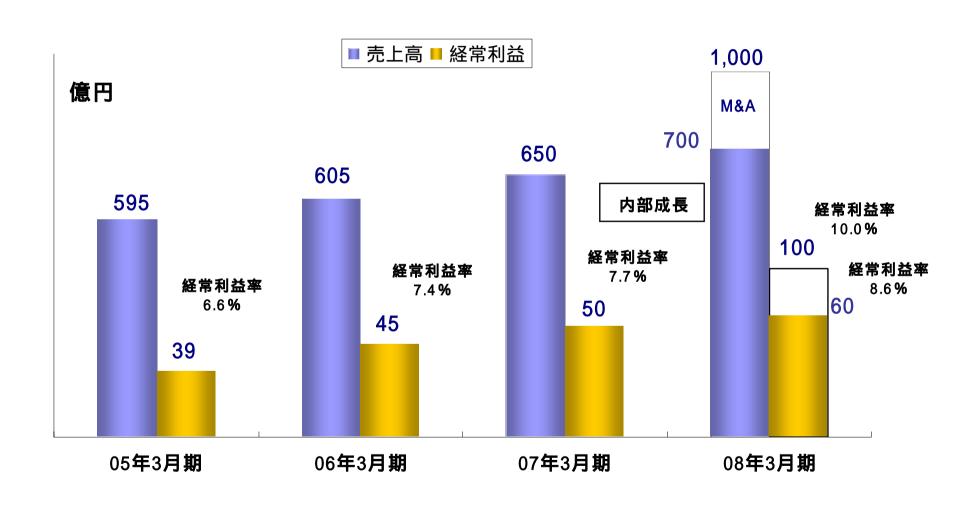
重点施策



- 4. 中国展開
 - 上海地域コンビニエンスストア向けシステムの展開
- 5. 品質・生産性向上プログラムの推進
 - · CRC版JAVA、. NETフレームワークの全社展開
 - ・「PL養成塾」、「アセットバンク」、「技術コミュニティ」
 - PM、PLの育成・レベルアップ、技術・ナレッジの共有促進
- 6. M&A
 - · 継続的なM&A機会の発掘とフォロー

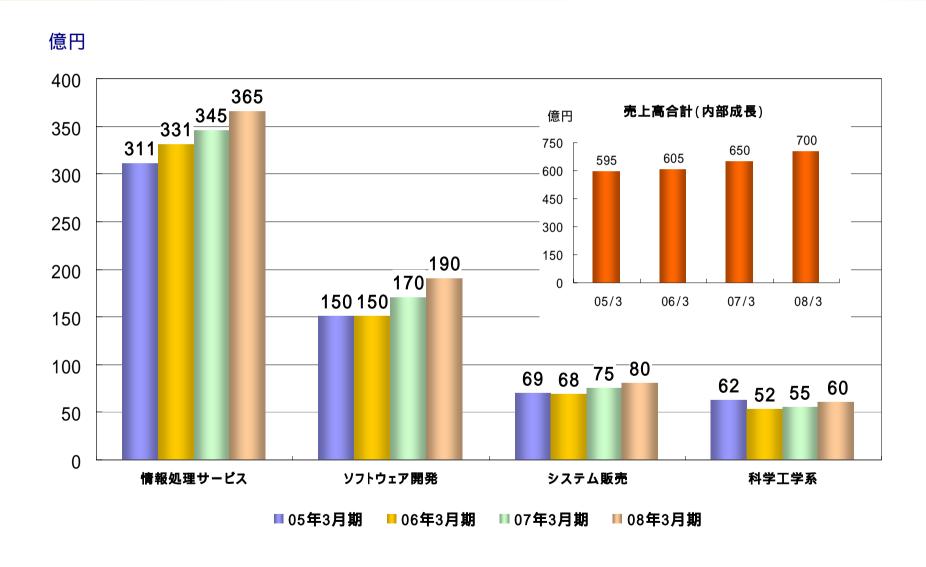
中長期ビジョン





中長期ビジョン:内部成長事業別売上高 いだい



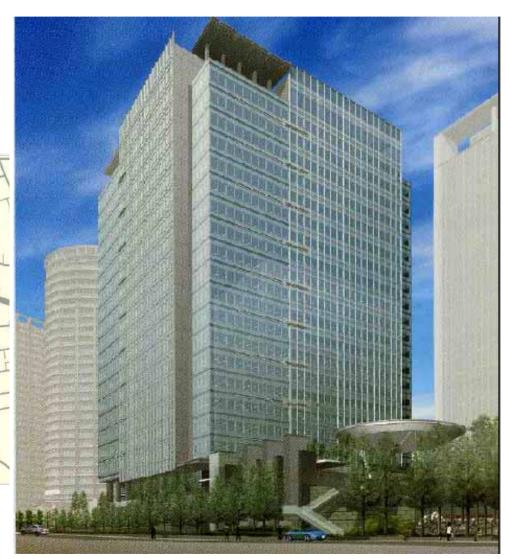


2007年1月 本社移転



JR大崎駅直結





(完成予想図)